

社員の雇用守るため 健康・安全に積極投資

コンクリート圧送業

北一円から東日本各地

彰する制度です。

です。

事務所内では血圧計や体温計でセルフチェック



再検査を徹底 熱中症対策も

以来、具体的に着手した行動は多種に及びますが、社員には定期健康診断の100%受診を徹底してもらいました。

衛廻しています要検査の項目があれば就業時

間内で再検査をしてもらいます。作業現場の対応として特に注力しているのは熱中症対策で

二三九

10

予防へ威
レメット

二〇四

10



猛暑にも熱中症予防へ威力を発揮する
空調服と遮熱ヘルメット

徹底、相談窓口（女性専用有）の設置、さらに社外カウンセリングサービス（24時間対応）の活用も導入しました。

に置かれた場合でも、重要な業務が継続できる方策を用意しておくことが重要です。今後は健康経営の考え方を一層充実させ、建設業の特性にもマッチしたプランを実現させるのが目標です」と語っています。

ヤマコン(佐藤隆彦社長)を山形市・立谷川工業団地内の本社に訪ねました。コンクリート圧送工事は、生コン運搬車で建設現場に運ばれてくる生コンクリートをコンクリートポンプ車で圧力をかけ、現場内的情形枠に圧送して打ち込む専門工事です。高層ビルや高架橋などさまざまなものコンクリート構造物の建設に今や欠かせない仕事となっています。同社は1966(昭和41)年の創業以来、圧送業の先駆者として東

約450社の中で事業規模・実績共に国内ナンバーワンの企業に成長しました。現在は給水管や排水管の入れ替え工事といった設備事業も手掛け、社員数は220人、このうち180人が以上が各地の現場で働いています。

ヤマコンは今年2月、日本健康会議が提唱し経済産業省が認定する「健康経営優良法人2019」に選ばれました。この認定制度は、地域の健康課題に即した取り組みや、各種の健康増進

り出す大きなきっかけは、2011年の東日本大震災だつたといいます。当時、仙台営業所が甚大なダメージを受け、支店機能を失う事態に見舞われました。水没したポンプ車や装備類も、復旧までには数ヶ月を要しました。そこで考えさせられたのが、社員の雇用をしっかりと維持することがいかに重要か

**再検査を徹底
熱中症対策も**

す。空調服や遮熱ヘルメットを新調し、経口補水液や塩あめ、梅干しなども常備しました。その結果、真夏の現場で重症化するようなケースが解消されるという効果を上げています。

が、分煙化を明確に進め、禁煙への意識改革も確実に進んでいます。事務所内には血圧計や非接触型体温計を配置し、セルフチェックを役立てています。

徹底、相談窓口（女性専用有）の設置、さらに社外カウンセリングサービス（24時間対応）の活用も導入しました。

に置かれた場合でも、重要な業務が継続できる方策を用意しておくことが重要です。今後は健康経営の考え方を一層充実させ、建設業の特性にもマッチしたプランを実現させるのが目標です」と語っています。